

# め の と

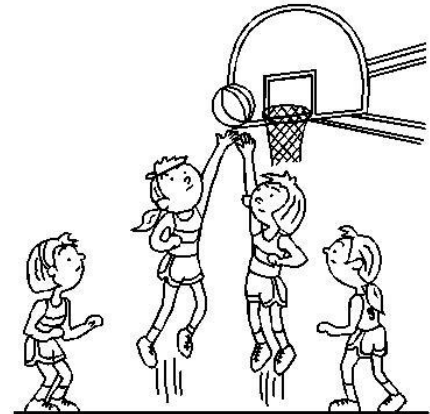


令和5年10月16日

長崎市立女の都小学校 校長 佐藤和幸

## 小体会がんばりました！

10月11日(水)山里小学校で行われたバスケットボール競技に6年生の子どもたちが参加しました。修学旅行後に練習を開始し、朝や昼休みの自主練習、放課後の練習と大変良く頑張っていたと思います。当日は、私も山里小学校会場に行き、子どもたちの全力プレーに声援を送りました。また、今年は、保護者の皆さんの観戦が可能となったため、山里小学校へ駆けつけてくださり、大きな拍手や声援で試合を盛り上げてくださった保護者の方々もいらっしゃいました。ありがとうございました。



試合は、男女とも山里小学校、西北小学校と対戦し、男子は2敗、女子は1勝1敗でした。勝敗に関しては少し残念な結果となりましたが、小体会に向けての取組は無駄ではなかったと思います。大会の閉会式で、私は子どもたちに次のような話をしました。

「小体会への取組を通して、バスケットボールの競技力の向上以外にも、粘り強く取り組む力やチームメイト同士励ましあう思いやりの心など多くの部分で成長があったのではないのでしょうか。また、他校の6年生とつながるきっかけにもなりました。半年後中学生になる皆さんは、これからも多くの機会に人とのつながりや絆を作っていくことを期待します。」

小体会という大きな行事を通して培った力を、女の都小学校の6年生にも最高学年として、学校生活の中で発揮してほしいと思います。

## ふわふわ言葉とちくちく言葉

10月の全校集会、校長講話で、「言葉の力」についての話をしました。

「ふわふわ言葉」とは、言われると気持ちふわふわして、うれしくなる言葉です。頑張っているときや辛いときにふわふわ言葉で話しかけてもらうと、やる気や勇気が出ます。自分に対してふわふわ言葉を使うと自分をもっと好きになります。



一方、「ちくちく言葉」とは、言われると悲しくて心が傷つく言葉のこと

です。ちくちく言葉を1度言われただけでも心が傷つくのに、繰り返し言われると、なにもやる気が出なくなったり、「どうせ私は」と自分で自分を傷つけてしまうようになってしまうこともあります。

言葉の使い方によって、気持ちが明るくなったり、暗くなったりすることがあります。言葉には力があるといえるのではないのでしょうか。そして、この力は、言葉を使う人の心が大きくかかっています。子どもたちには、この言葉で友達はどんな気持ちになるのかなと考えることができる力をつけてほしいと思います。思いやりの心があれば、ふわふわ言葉を多く使います。

女の都小学校が、ふわふわ言葉の力でもっと笑顔いっぱいになることを期待しています。